

いわた羅針盤

ら しん ばん

2025年
12月号
12/1発行

No.103

令和7年9月定例会

特集

スポーツ施設の再編について



CONTENTS

- P 2 特集 スポーツ施設の再編について
- P 4 9月定例会議案審議
- P 10 委員会審査
- P 13 一般質問（15人）
- P 21 用語解説・インフォメーション
- P 22 行政視察報告
- P 23 トピックス
- P 24 審議結果 ほか

特集 スポーツ施設の再編について

市議会総務委員会では、「スポーツ施設の再編について」を、テーマとして市内に必要とされるスポーツ施設の調査・研究をしてきました。今回は、70年以上の歴史を持つ中核団体であるNPO法人磐田市スポーツ協会の皆さんに、活動での経験や課題、スポーツのまち磐田への想いをお聴きしました。

(取材日: 令和7年10月7日)

(聴き手: 市議会総務委員会

加藤文重委員長、加藤公人副委員長、根津康広委員、鳥居節夫委員、戸塚邦彦委員、小池和広委員、鈴木弥栄子委員、伊藤克之委員、玉木良汰委員)



NPO法人磐田市スポーツ協会
理事長

あわくら 義弘さん
栗倉 義弘さん



NPO法人磐田市スポーツ協会
会長

たかはし かずよし
高橋 一良さん



NPO法人磐田市スポーツ協会
施設長

ながたに あきひろ
永谷 彰浩さん



NPO法人磐田市スポーツ協会
理事

いけだ ひろと
池田 弘人さん

——スポーツ施設の現状！

栗倉 管理をしている総合体育館は、平成の初期に建てられたもので、もう35年近く経過しています。比較的新しい体育館でも、竜洋体育センターでは10年以上経過しており、市内で管理している施設はかなり老朽化が進んでいます。大規模な修繕はないが、ゆめりあのフットサル場や豊岡のテニスコートなどの人工芝の張替えや部分張替え、城山球場も約50年が経過し3年ほど前に外野のラバーフェンスの張替えを行っています。

今年度からは市が体育館の暑さ対策として計画的にエアコン設置が進められています。

永谷 老朽化に対応するに当たって修復までに時間がかかる大規模修繕が出てきています。緊急性が高いものが壊れると、直すために一度利用を停止しなければならぬというところが年々増えてきています。壊れたままでは競技に影響してしまうような内容もあるので、早急に対応していますが、老朽化の影響により、利用者の方にご迷惑をおかけする場合がありますのが現状です。

——必要なスポーツ施設は！

池田 メジャーなスポーツ施設については、ある程度は存在しているよ

うに感じます。市民のニーズによって、必要なスポーツ施設を作るのもいいかと思えます。例えば、スケートボードなどはよく公園や駐車場で若い人たちが楽しんでやっているの、競技的にやれる施設があれば、利用する方もいると思います。

栗倉 市内に施設が点在しているが、利用者は施設周辺の方が中心となります。地元の声や利用者の方の声を聞かれています。利用側からすると、近くから無くなるのは抵抗があると思います。施設の利用率が高いので、再編は必要だと思いますが、施設統合は、今まで利用していた方が利用できるということの心配があります。例えば、御厨駅もあるので、兎山の方とかに野球場や陸上競技場などを含め、何十年後に造るという構想は必要かなと思います。

——スポーツのまち磐田への思い！

高橋 必要なスポーツ施設というと、大きなものを夢見がちの部分もありますが、それを否定してはならないと思う一方で、まずは安全で市民が気軽に使え、できるだけ平等に使えるということを優先する再編が必要だと思います。財源の中にどう織り込むかは、みんなの知恵だろうと思っています。



【自由意見交換会をしました。】

- ◎施設利用の変化について
- 平日の午前中は利用される方がいないが、特殊の時間帯を除けばほぼ100%利用している状況です。
- ◎空調がある施設の利用について
- 空調がついているアリーナは、夏場の利用は殺到します。しかし、比較的近くの施設や利用料の安い施設

が、利用が多いと感じます。

- ◎公認記録が取れるスポーツ施設について
- 公認を取ることは基準が厳しく、維持管理の大変さや改修、修繕などが必要となると伺っているため、公認の施設でなくてもいいと感じています。

- ◎施設の草の管理について
- 指定管理者や市がやるべきと思いますが、利用料もある程度低く抑えられているという中で考えると、利用者の方々が利用後にごみ拾いや除草など多少の管理もしていただけたら助かります。

- ◎アンケート調査について
- 年に一度、加盟団体等から施設の不具合や備品の要望などアンケート調査を行い、要望書として市に提出しています。

- ◎駐車場について
- 総合体育館（かぶと塚公園）ですと、体育館の前と芝生広場北側だけでしたが、正面の入り口から東に、120台ぐらい、ここ10年の間で少しずつ広げて、結果倍ぐらいになっています。しかし、今でも足りないと言われています。年に数回の大会などで駐車場を整備する必要がありますかどうかは議論が必要かと思っています

が、足りない状況と感じています。

- ◎風水害のマニユアルについて
- 今管理している施設では、過去に浸水が無いので、豪雨のときのマニユアルではない状況です。一部の河川敷については、河川の水位が上昇するとき、事前に市の方で備品等の撤去を行っています。

- ◎日常の施設管理の注意点について
- 基本的に安全に利用していただくというのが一番ですので、協会の加盟団体や利用者から不具合があれば報告をいただいています。

- ◎新しい競技について
- スケートボードに関しては、需要があると感じますが、以前、ボルダリングの下見なども実施しましたが、総合体育館では場所がないため、見送りになりました。モルックやボッチャなど、施設に損傷が無ければ利用はできます。

- ◎ウォーキングについて
- ジュビロマラソンのTシャツなどを着用してウォーキングやジョギングをしている人を見るとうれしく思います。スポーツ施設は公園の近くにあるので、景観という意味でも必要ですし、まちづくりや地域づくりという意味合いも含め、もっと人が集まるような視点も必要だと思います。

令和7年

9月

定例会

議案審議

会期 9月5日～10月14日（40日間）

9月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。
質疑や討論は内容を要約して掲載しています。
詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。

磐田市議会

配信

検索

クリック

6年度各会計決算などを審議

9月定例会では、一般会計をはじめとした6年度各会計決算12件、一般議案20件、人事議案1件と議員発議の条例1件・意見書1件を審議しました。

なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

会派名の表記（人数）

※7年10月14日現在

「志」 志政会（7）

「せ」 せいわ会（4）

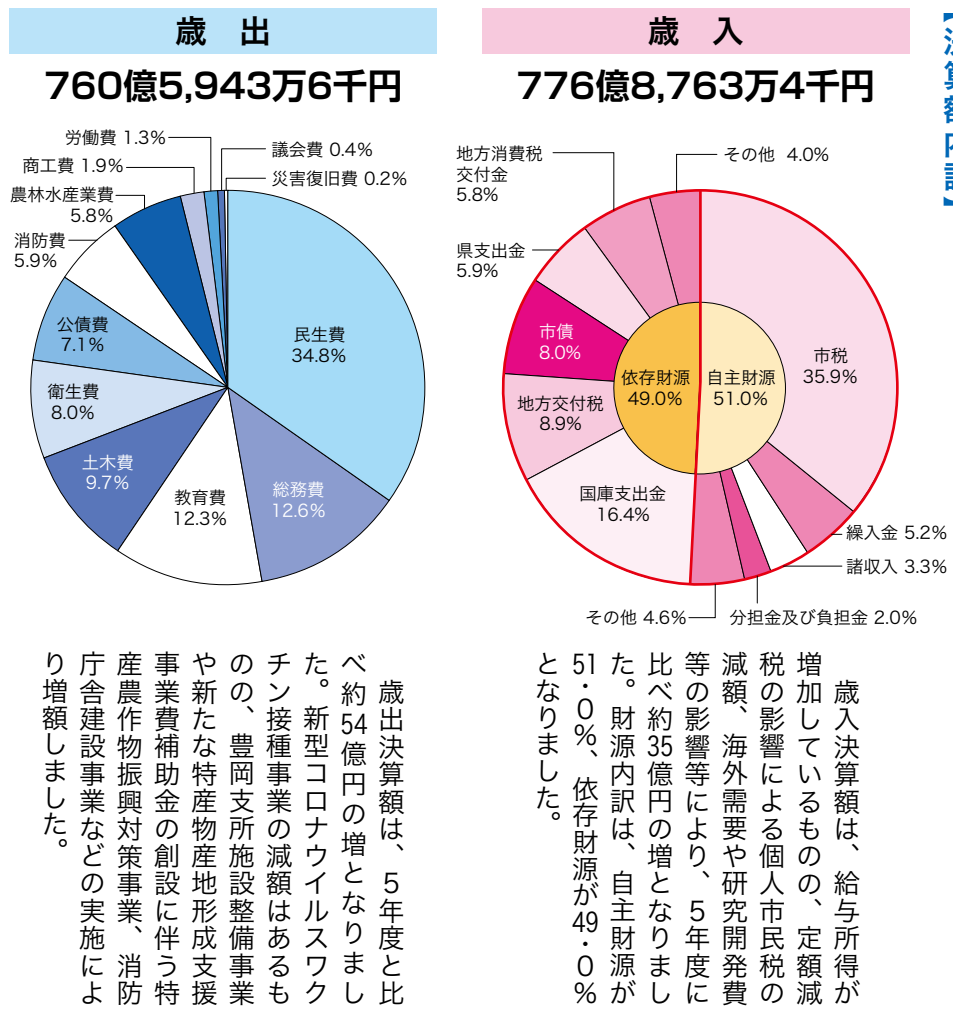
「新」 新磐田（4）

「愛」 愛和（4）

「創」 市民と創る磐田（3）

「共」 日本共産党磐田市議団（2）

「公」 公明党磐田（2）



一般会計決算額は、歳入が776億8763万4千円、歳出が760億5943万6千円となり、差引額16億2819万8千円、7年度に繰り越す財源を控除した実質収支額は、14億3764万5千円の黒字となりました。

賛成

志、新、せ、愛、創、公

反対

共

認定第1号

6年度一般会計決算

賛成多数で認定

主な財政指標（ ）内は前年度の数値

- 財政力指数 0.798 (0.783)

標準的な行政活動に必要な財源をどれだけ自力で用意できるかを表します。1.0を超えると財政基盤がしっかりしていると判断され、地方交付税が交付されません。
- 実質収支比率 3.4% (8.3%)

自治体の財政運営の健全性を表します。実質収支が黒字ならば正数、赤字ならば負数で表されます。
- 経常収支比率 95.5% (87.4%)

市税など毎年ほぼ変わらず収入される財源のうち、人件費、扶助費など毎年支出する経費にどれだけ充てているかを表します。

一般会計決算に対する討論がありました

反対

放課後児童クラブ
全面民間委託化は問題

放課後児童クラブは、「子ども・子育て支援法」で、市町村事業に位置付けられている。全50クラブを民間委託化することは、公的責任の放棄である。非正規雇用が拡大される中で、子育てや福祉、学校給食など、市で責任を負うべき仕事は民営化・民間委託化ではなく、本来の使命を果たすべき正規雇用職員の確保を求める。

学校給食費問題では、食材費高騰分を保護者負担に転嫁しており問題である。学校給食は教育の一環であり、無償化が広がる中で、支援の継続と拡充が必要である。

浜岡原発の再稼働問題は、電力高騰など、市民生活に大きな影響が出ているなどを理由に、賛成でも反対でもない、大きく後退している。市民の命と暮らしを守るためにも、浜岡原発再稼働反対の立場に立つべきである。反対意見にもしっかりと耳を傾け、市民のために、さらに努力を求める。

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

賛成

市民生活に寄り添う
予算運用と民間協働の展開

財政運営は、全国的な少子高齢化や物価高騰など厳しい状況の中、当初予算を14回の補正で拡充し、国の制度改正や経済情勢の変化、災害対応などに柔軟に対応した。これは機動的な財政運営の姿勢が示されたものと評価する。

民営化・民間委託化は行政の責任を放棄するものではなく、むしろ行政が、「質の確保と公平性の担保」という本来の役割に集中し、事業の監督・支援を通じて、市民により良いサービスを提供していくための手段であり行政が責任を持ちながら民間の力を上手に取り入れることは、持続可能なまちづくりに向けた前向きな改革である。

福祉・防災・教育・経済・環境と、幅広い分野で、市民の暮らしを支える成果が確認でき、市民生活に寄り添った執行であり、安心できるまち、人が集まる磐田市に向けた施策が進められることを期待する。

せいわ会 加藤公人 議員

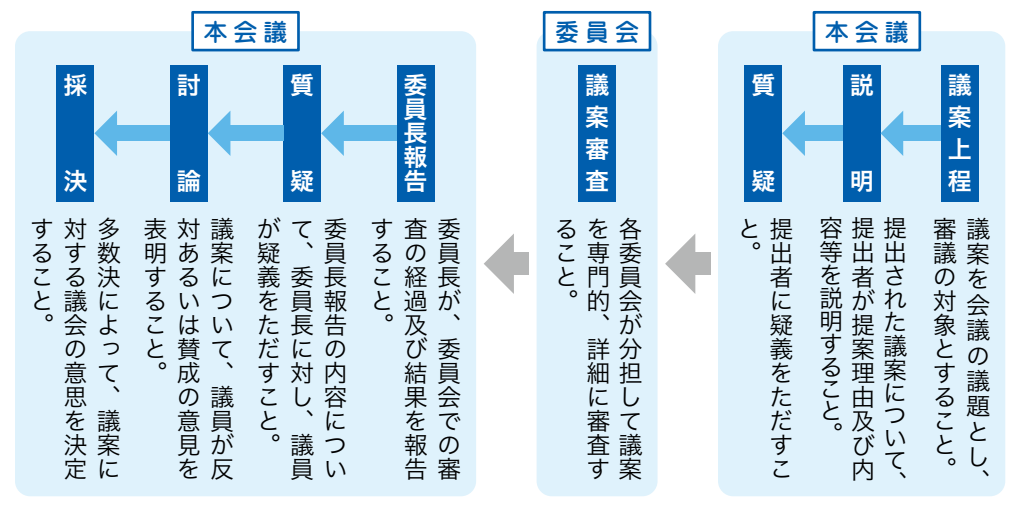
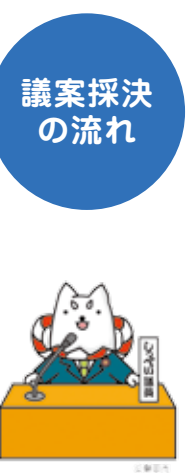
賛成

財政の健全性が維持された決算

財政の弾力化には注視が必要だが、目標数値は達成しており財政の健全性が維持された決算である。3つの重点戦略のうち「働く場所・雇用の共創」では、オフィスの立地に対する支援やレモン産地取組み支援など、「住みたくなる・集まりたくなるまちに向けた共創」では、こどもの居場所の支援制度創設や「SPO☆CUL－WATA」の実施など、「新たな価値・魅力の共創」では、スポーツを活用したまちづくりや文化・芸術・歴史に触れる機会の充実が図られ、将来へ向け価値を創造する安心を最優先した事業を評価する。

放課後児童クラブの委託化は、現場の運営業務委託であり、人材確保やサービス拡充など、この先の事業によい影響が出ると考える。福祉課題に対して、「くらしと仕事相談センター」や、新たに設置された「こども若者家庭センター」等による、担当課や年代を超えた連携強化は大変評価できる。

志政会 秋山勝則 議員



認
第3号

6年度国民健康保険事業特別会計決算

賛成多数で
認定

国民健康保険事業特別会計の決算額は、歳入が157億1492万3055円、歳出が155億2280万8292円となり、差引残額1億9211万4763円を7年度に繰り越すこととなりました。

（賛成…志、新、せ、愛、創、公 反対…共）

本会議での主な質疑

問 保険税率改定の影響と被保険者の反応は。

答 保険税率の改定や所得の増加により、調定額の合計は約9900万円増加した。広報いわたや納税通知書に改定理由を記載したチラシを同封など周知に努め、大きな混乱はなかった。

問 収納率向上の取組内容は。

答 キャッシュレス決済など納付しやすい環境の整備と、滞納額が大きくならないよう早期の滞納整理に努めた。

問 6年度におけるマイナ保険証の保有状況と利用実績は。

答 静岡県国民健康保険団体連合会の集計によると、7年3月時点での保有率は71・2％、利用率は46・0％である。

問 外国人の加入状況は。

答 6年度末時点で、市内に住む外国人世帯の約14％にあたる762世帯が国民健康保険に加入している。

討論がありました

反対

負担増は行うべきではない

被保険者一人当たり年額で平均8670円の値上げとなった。国保加入者の多くは低所得者であり、これ以上の負担増をすべきではない。国庫負担の引上げ、子どもの均等割の軽減を国に求めるべき。日本共産党磐田市議員 根津康広 議員

賛成

国民健康保険事業の適切な執行

世帯の所得が少ない場合は負担の軽減が行われている。医療費の削減は喫緊の課題と認識し、特定健康診査や特定保健指導等、事業を維持運営していくために必要な取組を継続していると理解した。せいわ会 平田直巳 議員

認
第5号

6年度介護保険事業特別会計決算

賛成多数で
認定

介護保険事業特別会計の決算額は、歳入が144億9776万480円、歳出が138億2677万7438円となり、差引残額6億7098万3042円を7年度に繰り越すこととなりました。

（賛成…志、新、せ、愛、創、公 反対…共）

本会議での主な質疑

問 現年度分普通徴収保険料収入未済額690万6776円と、滞納繰越分普通徴収保険料収入未済額414万5651円の理由は。

答 現年度分は195人、滞納繰越分は126人の滞納分である。滞納の要因は、年金収入が少ないなど、生活が困窮していることや納付に対する意識が薄いといったことなどが考えられる。

問 6年度における特養ホーム待機者は。また、施設の介護職員の充足度、施設の財務運営状況は。

答 待機者は6年4月1日現在22人であり、市内の施設は満床である。職員の充足度は、定期的に県が運営指導をしているが、人員基準に達していないとの指摘はなく、施設運営に支障はないと認識している。運営状況は、食材費の高騰で厳しいと聞いているが、経営は比較的安定しており、事業継承に影響を及ぼすような深刻な状況ではない。

討論がありました

反対

保険料の値上げに基づく決算

保険制度創設から約2倍になった保険料の値上げに基づく決算である。国の財源負担率がわずか25％の低い水準にとどまっており、制度の改善と現状のサービスを低下させないよう国に強く求める。日本共産党磐田市議員 高梨俊弘 議員

賛成

制度の安定的な運営が必要

保険料率の改定は安定した事業運営のための財源確保であり、介護予防に努めながら急激な給付の伸びの抑制にも取り組んでいる。介護保険制度は生活に不可欠であり安定的な運営が必要である。せいわ会 平田直巳 議員

認
第4号

6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

賛成多数で
認定

後期高齢者医療事業特別会計の決算額は、歳入が27億4182万7544円、歳出が27億3092万8888円となり、差引残額1089万8656円を7年度に繰り越すこととなりました。

（賛成…志、新、せ、愛、創、公 反対…共）

討論がありました

反対

保険料の引上げに基づく決算

保険料率が静岡県後期高齢者医療広域連合により見直され、所得割率が9・49％、均等割額が4万7000円になり、一人当たりの平均保険料が年額8万1790円と、約1万円の大引上げとなっている。保険料率の改定が2年ごとに行われ、窓口負担も1割から2割になり、医療の抑制につながっていることは問題である。年金で暮らす高齢者にさらなる追い打ちをかける保険料の引上げに基づく決算には賛成できない。日本共産党磐田市議員 高梨俊弘 議員

賛成

後期高齢者医療事業の持続可能な運営

保険料率の改定等により、一人当たりの調定額が1万626円の増加となった。一方で、一人当たりの医療費が1万1447円の増加となったことから、支出に見合った収入の増加となっており、安定した事業運営が図られている。現役世代の負担を抑えつつ負担能力に応じた受益者負担と同時に、高齢者に対する負担軽減措置も行われ、後期高齢者医療事業の持続可能な運営が進められている。せいわ会 平田直巳 議員



6年度 各会計決算

一般会計

| 会計名 | 歳入 | 歳出 |
|------|---------------|---------------|
| 一般会計 | 776億8,763万4千円 | 760億5,943万6千円 |

特別会計

| 会計名 | 歳入 | 歳出 |
|-------------|---------------|---------------|
| 国民健康保険事業会計 | 157億1,492万3千円 | 155億2,280万9千円 |
| 後期高齢者医療事業会計 | 27億4,182万7千円 | 27億3,092万9千円 |
| 介護保険事業会計 | 144億9,776万0千円 | 138億2,677万7千円 |
| その他の特別会計※ | 8,903万1千円 | 8,859万8千円 |

※その他の特別会計には、駐車場事業、4財産区の各特別会計の合計額を記載しています。

企業会計

| 会計名 | | 収入 | 支出 |
|---------|-------|--------------|---------------|
| 水道事業会計 | 収益的収支 | 29億9,579万1千円 | 26億 591万8千円 |
| | 資本的収支 | 6億1,373万2千円 | 18億2,279万8千円 |
| 下水道事業会計 | 収益的収支 | 64億6,602万6千円 | 60億5,243万8千円 |
| | 資本的収支 | 22億2,906万5千円 | 39億6,822万8千円 |
| 病院事業会計 | 収益的収支 | 189億 188万3千円 | 209億8,813万2千円 |
| | 資本的収支 | 15億 885万8千円 | 20億8,291万7千円 |

収益的収支…収益的収支は、水道事業の水道料収入、下水道事業の下水道使用料収入、病院事業の入院・外来の診療収入などをいいます。

収益的支出は、職員給与と材料費、光熱水費などをいいます。

資本的収支…主に施設を整備・拡充するために必要な経費と財源をいいます。

7年度一般会計補正予算（第4号）

全会一致で
可決

この補正予算は、一般会計補正予算第3号の補正後の額に、歳入歳出それぞれ2億147万円を追加し、総額を878億1349万5千円とするものです。

補正予算の主な内容

- 物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するため、水道の基本料金の減免に対する水道事業会計補助金の増額
- 私設簡易水道組合に対する補助金の増額
- 財務会計システムの改修
- 6年度決算見込みに伴う後期高齢者医療広域連合負担金の増額
- 家事支援ヘルパーの派遣に要する経費の増額

本会議での主な質疑

問 マイナンバーカードと在留カードの一体化の経緯や課題は。
答 日本に在留する外国人の多くは、在留カードとマイナンバーカードの双方を所持し、現行制度においては、地方出入国在留管理局と市町村窓口という、それぞれ別の行政機関で手続きを行う必要がある。このため6年に出入国管理及び難民認定法の一部を改正し、一体化による、手続きの一元化を可能とした。なお、外国人に対する制度の周知・広報が今後の課題である。

問 物価高騰に対する支援として、水道料金減免の内容は。

答 減免対象を本市の水道事業で水道口径13mm又は20mmを契約している世帯とし、主に一般家庭約6万5000世帯となる。減免は、当市に配分された交付額から1期2ヶ月分の基本料金とし、口径13mmの場合は2310円、20mmの場合は2750円となる。市内には簡易水道組合が水道事業を運営している地域があるので、組合に対して補助金を交付し、運営費や水道料金の減免に充てていただく。対象の組合は市内に9つあり、補助額は市の水道事業の基本料金を参考に1世帯当たり2310円として、各組合の世帯数を乗じた金額の交付を予定している。

問 家事支援ヘルパー派遣事業派遣委託料の内容と選定方法は。

答 産前産後の家事支援ヘルパー派遣240回分の委託料で、選定方法は、食事の準備及び片付けや住居等の清掃及び整理整頓等に加え、軽微な育児支援の実施が可能である事業所に対し、実施体制、実績等を確認し、選定している。

市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

全会一致で
可決

これは、地方自治法の一部改正により、議会の議員に係る請負に関する規制の明文化及び緩和がなされ、各地方公共団体において議員個人による請負の状況の透明性を確保するための取組を併せて行うことが適切であると示されたことから、本条例を制定するものです。

制度の概要

これまで、地方自治体の議員個人がその自治体に対して請負をすることは地方自治法において禁止されていましたが、5年3月1日から、普通地方公共団体の議員の当該普通地方公共団体に対する請負に関する規制が緩和され、1会計年度につき300万円以下であれば、請負をすることが可能となりました。

※ここでの「請負」は、業として行う工事の完成若しくは作業その他の役務の給付又は物件の納入その他の取引で当該普通地方公共団体が対価の支払をすべきものを指します。



条例の主な内容

- 報告の対象
前年度中に、磐田市に対し請負をした磐田市議会議員
- 報告内容
前年度の磐田市に対する請負のうち、請負ごとの次の事項
- 請負の対象とする役務、物件等
- 契約締結日
- 契約金額
- 支払を受けた総額
- あわせて、支払を受けた総額の年度における合計額
- 報告期間
6月1日から6月30日まで
- 公表
報告があった場合には、一覧を作成し公表
- 保存
報告期限の翌日から起算して5年を経過する日まで

市立総合病院の使用料及び手数料条例の一部改正

全会一致で
可決

これは、人件費及び物価の上昇による諸経費の高騰などに伴い改正するもので、病室の使用料及び文書料等の手数料の額を引き上げるものです。

本会議での主な質疑

問 手数料額の引上げによる収入の見込は。

答 病室の使用料は平成17年、文書料等は平成6年以来的の見直しで、年間で使用料が約1300万円、文書料等が約1100万円の増収を見込んでいる。

問 県内公立病院との比較検討は。

答 中東遠総合医療センターや菊川市立総合病院、浜松医科大学付属病院で室料を見直している。金額も大きな差異はない。文書料は、県内8つの公立病院で変更はなかったが、全国では多くの病院で見直しが行われている。

問 一般会計からの繰入金による値上げ抑制の検討は。

答 手数料は、一般会計からの繰出基準に該当しない。人件費や物価上昇による諸経費の高騰に伴うものであるため、繰入金による抑制は考えていない。

討論がありました

賛成 病院経営を守る改正

国に対して病院事業が継続できる診療報酬改定を求めるとともに、安全で良質な医療の提供、病院職員の満足度向上、患者サービスの充実を求める。なお、病院経営を守っていくうえで使用料及び手数料の引上げはやむを得ない。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

賛成 健全経営のための取組

収益向上や支出抑制に取り組み、修正医業収支比率は0・6ポイント増加したが、純損失は拡大している。人件費や物価上昇による諸経費の高騰に伴う室料や文書料等の改正は、健全経営の取組として妥当である。

せいわ会 平田直巳 議員

「物価高騰等を踏まえた適切な診療報酬改定等に関する意見書」を国に提出

全会一致で
可決

市議会は、地域医療を守るため、入院基本料をはじめ診療報酬改定の早期実施や臨時的な診療報酬加算の創設など、物価高騰や人件費上昇に柔軟かつ速やかに対応することや、適切な制度改正が実施されるまでの間は、国からの直接補助や新たな交付金の創設などにより、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくための支援を行うよう、国に意見書を提出しました。

（意見書提出先）内閣総理大臣ほか3大臣、衆・参議院議長

物価高騰等を踏まえた適切な診療報酬改定等に関する意見書

少子高齢化が進展する中、持続可能な地域医療提供体制を確保することが、地域において一層重要な課題となっている。一方で医療機関は、国が定める全国一律の公定価格である診療報酬を基本として経営を行うこととされており、長期化する物価高騰や人件費の上昇による経費増の影響を独自に価格に転嫁することができず、経営基盤を安定化させることが非常に難しい状況になっている。

（中略）

今後も適切な診療報酬改定が行われなければ、医療従事者の確保、情報セキュリティの確保など、課題が多い病院の経営が立ち行かなくなることともより、住民が求める地域医療の提供体制を維持することができなくなる。

記

- 1 物価高騰等の現下の社会経済情勢が、地域における社会保障サービスの中核となる医療機関の経営に甚大な影響を及ぼしていることから、地域医療を守るため、入院基本料をはじめ、診療報酬改定の早期の実施や臨時的な診療報酬加算の創設など、物価高騰や人件費上昇に柔軟かつ速やかに対応すること。
- 2 上述の適切な制度改正が実施されるまでの間は、国からの直接補助や新たな交付金の創設などにより、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくための支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書全文は市議会ホームページに掲載しています。



委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。
その内容の一部をお知らせします。

予算決算委員会

■委員長：鳥居節夫 ■委員：議長を除く全議員
■副委員長：江塚 学

6年度一般会計歳入歳出決算

【歳入11款 地方交付税】

問 普通交付税の減額要因と特別交付税の増減額が大きい項目は。

答 交付税の算出にあたり、法人市民税は5年度分を用いており、税収が25億円増えたため、普通交付税が減額した。特別交付税の増減要因は、地方バス路線運行の維持対策に要した経費の1800万円、緊急に実施する防災減災施策の1200万円である。

【歳入15款 国庫支出金】

問 子ども・子育て支援交付金の活用と検証は。

答 里親の短期支援事業、乳児家庭全戸訪問事業、育児サポートが支援を行う養育支援訪問事業など、こども若者家庭センターで行っている多くの事業に補助があり事業が進めやすい。また保育園でもこの交付金を活用している。

【歳出2款 総務費】

問 窓口に行かない体育施設の利用推進は。

答 学校体育施設の利用者が

【歳出6款 農林水産費】

問 特産農作物振興対策事業のレモン栽培は。

答 6年度の目標面積は6ヘクタールで、茶との複合を主眼に北部地域での栽培を見込んでおり、連携協定先のJA、(株)ポッカとの説明会に約90名の参加があった。今後も産地化に向け取り組んでいく。

【歳出7款 商工費】

問 軽トラ市の取り組みは。

答 1回で8000人から1万人くらいの来場者があり、イベントとしては効果があった。地元商店への効果の波及が課題になっている中で、関係者とのワークシヨップ等を行い、夜軽トラ市の計画へと至った。



軽トラ市

らは、現場に行つてスマートロックのキーボックスから鍵を借り、使用して、返却もできる。窓口に鍵を借りに行く手間がなく、使用料の支払いもキャッシュレス決済となったため、便利になったという声を聞いている。



スマートロック

【歳出3款 民生費】

問 障害者等就労相談窓口における連携・すみ分けは。

答 障害者等就労相談窓口では、相談者との面談を重ね、就労時間や業種などを適切に選び、ハローワークへの随行、ジョブコーチ支援を依頼している。市は適切な選択を支援、ハローワークは就労先をあつ

【歳出8款 土木費】

問 地震時の盛土の安全性調査は。

答 地質調査、盛土の形状、土質・地下水の調査により、安全性を確認した。結果は、ホームページへの公開のほか、地元自治会への説明と、文書の回覧を実施した。

問 急傾斜地崩壊対策事業の実施状況は。

答 大久保地内の法面88平方メートルの施工のほか、豊田南地区の用地測量と詳細設計を行った。

【歳出9款 消防費】

問 機能別消防団員の構成と評価は。

答 機能別団員136人は基本消防団員の後方支援等を担当しており、現場では、消火活動にも携わりたいという声を聞いている。機能別消防団員制度は多くの方に参加いただき、高く評価している。

【歳出10款 教育費】

問 放課後児童クラブ運営事業の民営化は。

答 夏休みの昼食提供でのアレルギード対応や値段、支援員

せん、といったすみ分けをしている。

【歳出4款 衛生費】

問 発達障害等支援事業は。

答 はあとの職員とこども未来課の職員を中心に、都度、個別の問題について協議をしている。課題は、増えているグレーゾーンと言われる子どもへの対応で、保護者の希望や考え方も多様になる中、個々の状況に応じて、専門職と市が協力して進めていくことが大事である。

【歳出4款 衛生費】

問 地域医療の支援・啓発は。

答 磐田市健康づくり及び地域医療を守り育む条例、ACP（人生会議）などの周知に重点を置き、広報いわたで8月に条例制定の経緯やポイントの掲載記事、9月に地域医療の現状や上手な医療の使い方、人生の最終段階における過ごし方などを啓発した。効果と検証は。

答 消費電力量は82万7000キロワットアワー、電気料金は約2480万円、CO2排出量は約360トンの削減

の継続有無、土曜日の運営や利用料など、保護者から意見があり、土曜日の開所などを委託業者と協議した。また、プロポーザルで決定した4業者へは、事前に確認した希望に添って、東西南北それぞれのブロックを委託している。

問 調理洗浄等の業務委託による調理員の推移は。

答 6年4月1日現在、正規が11人、会計年度任用職員が派遣を含めて22人、合計33人で7校の調理をしている。今後の民営化は、退職者の様子を見ながら少しずつ進める。



6年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算

問 回数券や定期券の実績を見て今後の可能性は。

となる。受付開始後に申請期間を3か月延長したが、当初から申請期限を年内にすべきであった。



ゼロカーボンシティロゴマーク

【歳出5款 労働費】

問 市内での創業の状況は。

答 目標値に達する115人が創業しており、評価できるものと認識している。創業後の事業継続の追跡調査を、今後検討していく。

問 障がい者就労支援事業の状況は。

答 中東遠ワークセンターで職業訓練を開催し、利用者は全体で45人、うち磐田市民は17人である。

答 利用者はリピーターが多い傾向にあると感じている。定期券は月極めと違い駐車スペースを確保していないため、利用を増やすことができる可能性はあると考えている。

6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

問 保険料率改定による調定額への額は。

答 調定額への影響は、保険料率の改定分が約1億6452万1000円、所得の増加分が約9605万6000円となり、この保険料率の改定と所得の増加で、1人当たり調定額8670円の増加となった。一方、被保険者数の減少により約1億6151万2000円減となり、増減をトータルすると現年分の調定額は約9900万円の増になる。

6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

問 6年度の保険料率の見直し等による調定額への影響等は。

答 現年度分の調定額で約3

一般質問

要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。
9月定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。
発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。
詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

防災力の向上／学校給食の課題と食育の充実



問 答

愛和 鈴木百合子 議員

防災力の向上

- 問** 防災士・ジュニア防災士が学校や地域などで横断的に活躍できる仕組みづくりは。
- 答** 防災士については、活躍できる仕組みづくりに着手している。ジュニア防災士についても、中学生が地域で応急救護訓練の講師となれるよう、救急法の講義を受講できる準備をしている。
- 問** 中高生など世代を超えて参加できる新しい防災訓練が必要と考えるが見解は。
- 答** デジタル機器の更なる活用や、ゲーム要素を取り入れ、参加者が達成感を味わえる内容とするなど、若者の興味を引く訓練内容を検討する。
- 問** 資機材の内容・貸出の周知を図り、自治会等が活用しやすい仕組みづくりは。
- 答** 資機材貸出しについて市ホームページや研修会等で周知し、防災に関心を持ってもらえる環境づくりに努める。
- 学校給食の課題と食育の充実**
- 問** 給食の残食増加の背景と楽しく食べさせるための対応は。



- 答** 残食増加は、食の嗜好の多様化、食べられる量を食べるスタイルへの変化と捉えている。現在、栄養指導の他、味付けの工夫や食感を楽しめる調理法の導入などの取組を行っている。
- 問** 給食の安全性と品質を確保するための工夫や取組は。
- 答** パンは、国産小麦のものを使用し、調味料は、可能な限り食品添加物が少ない商品を選定している。
- 問** 物価高騰下、栄養確保のため給食費引上げの考えは。
- 答** 現在は公費投入に加え、安価な食材への変更等で対応しているが、栄養価を満たした安定的な給食の提供のためには、値上げの検討が必要と考えている。

委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

予算決算委員会

- 6年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算**
- 問** 保険料改定の影響は。
- 答** 1人当たり年額5600円を基本額として値上げし、保険料全体として約3億5000万円の増額となった。
- 6年度広瀬・岩室・虫生・万瀬財産区特別会計歳入歳出決算**
- 問** 万瀬財産区と大学との研究は。
- 答** 静岡大学とは、区有林の活用協定により広葉樹林化の植生調査を実施している。農林環境専門職大学とは、森林計測のデータ活用方法の検討を行い、調査の状況を地域の方と情報共有している。



- 6年度水道事業会計決算**
- 問** 人工衛星とAIを活用した漏水調査は。
- 答** 既存の調査に比べ、1キロメートル当たり約6倍の漏水を発見できた。市内では適用できない地域は無いと認識しているが、市が管網図を把握していない簡易水道組合の箇所は対応できない。
- 6年度下水道事業会計決算**
- 問** 5年度と比べ、処理水量が5・7%増、有収率が5・0%減となった理由は。
- 答** 6年度は降水量が多く、マンホール等の外からの雨水流入により、有収率が低下した。ストックマネジメントの中で、水が入りにくいタイプのマンホールへ交換していく。

- 6年度病院事業会計決算**
- 問** 医療費の滞納状況は。
- 答** 6年度は全体で879件の5847万円、累計では、全体で2434件の1億3870万円となっている。
- 7年度一般会計補正予算（第4号）**
- 問** 市有施設LED照明リース事業をリース事業とした経緯は。
- 答** 2030年度までに市有施設のLED化を完了するため、迅速に工事を進める必要がある。リース事業は費用を平準化し、単年度の財政負担を抑えながら、多数の施設を同時期に改修することが可能となる。電気料金と二酸化炭素の削減効果もより早く得られる。さらに、改修後の管理業務もリース事業に含まれ、維持費や事務負担も軽減される。



竜洋海洋公園テニスコート

- 7年度一般会計補正予算（第5号）**
- 問** 竜洋海洋公園テニスコート屋根シート修繕の方向性は。
- 答** これまでは、災害復旧で、緊急的に災害復旧債を利用している。しかし、利用者の安心安全を考えると、災害により壊れてから修繕することを繰り返しては、安全な利用が難しいと考える。方針としては、災害復旧債を使わず計画的に修繕していきたい。
- 場合の水道料金の減免は。**
- 答** アパートの管理会社等の契約が13ミリ・20ミリならば、減免対象になる。

酷暑対策について／ 安心な暮らしの諸政策について



一括
質問

公明党磐田 江 塚 学 議員



酷暑対策

- 問** 登下校時の熱中症対策として、学校への冷凍庫等の設置を含めた支援策の考えは。
- 答** 予算措置も含め、各学校の状況に応じた適切な設置に向け検討していく。
- 問** 屋外業務や運転に従事する職員の偏光サングラス着用についての考えは。
- 答** 必要に応じて着用しており、識別性の確保や安全性の観点からも有効と考える。市民への周知や、接するときには配慮するなど、理解を得ながら適切に活用していく。
- 安心な暮らしの諸政策**
- 問** 学生の入居を見据えた市営住宅のコミュニティ活性化についての考えは。
- 答** 入居者の高齢化が進行し、近い将来のコミュニティ維持が課題である。学生の力を活用した市営住宅コミュニティ活性化を研究していきたい。
- 問** 社会的弱者に対し、住まいと支援を一体的に提供する取組についての考えは。
- 答** 住宅確保要配慮者に対し



安心・安全に暮らせる環境づくり／ 地域への誇りの醸成について



一括
質問

志政会 伊 藤 克 之 議員



安心・安全

- 問** 児童生徒の登下校時の通学路整備の取組状況は。
- 答** 学校から報告があった危険箇所を、市関係各課と警察とで点検を行い、必要に応じて道路に車止めを設置したり、グリーンベルトを引いたりするなどの対策を講じている。
- 問** 高齢者の見守り体制についての課題は。
- 答** 独り暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、地域での見守り活動に協力をいただける方や団体等をさらに増やし、見守りネットワークを拡充していくことと考えている。
- 問** 道路の草刈りの実施頻度や対象区域の決定は。
- 答** 道路の草刈りは優先的に幹線道路や通学路、交差点等を年2回もしくは1回実施している。さらに、道路パトロールで見つけた箇所や、市民から通報いただいた箇所についてもその都度実施している。
- 地域への誇りの醸成**
- 問** 共創を取り入れた学校・地域活動は。



向陽学府小中一体校にかかる諸課題について／ 小中学校屋外プールの今後の在り方について



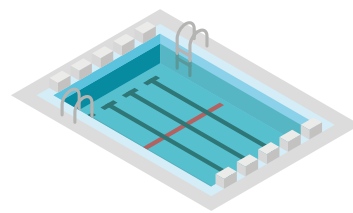
一問
一答

日本共産党磐田市議団 根 津 康 広 議員



向陽学府小中一体校にかかる諸課題

- 問** 周辺道路など通学の安全確保のための整備は。
- 答** 横断歩道の再塗装や車止め設置などの安全対策を行う。開校後もスクールバスによる登下校支援を拡充し、交差点への人員配置も検討する。
- 問** 国基準以下の遠距離地区へのスクールバス整備の検討経過と結果は。また、改善すべき点は。
- 答** 国基準以下でも、新たに6か所の乗降場所を設ける。また、保護者が乗降を確認できるシステム導入を検討する。
- 問** 岩田、大藤、向笠の各小中学校は指定避難所であるが、今後の役割と位置づけは。
- 答** 少なくとも8年度までは各校を指定避難所として活用する。今後は、地域の公共施設の在り方を市民と考えながら、学府内の防災拠点を検討していく。
- 問** 大藤こども園、向笠幼稚園の統合について、検討状況と方針決定の時期は。
- 答** 大藤こども園を再編後の



- 園とする案で、保護者や地域の方々と意見交換を行っている状況であり、7年度中に方針を決定する予定である。
- 小中学校屋外プールの今後の在り方**
- 問** 小中学校プールの老朽化の現状と今後の改修方針は。
- 答** 30年を経過する学校が23校あるなど、水漏れや、ポンプの故障などが発生しており、今後の改修は修繕規模に応じて個別に判断していく。
- 問** 水泳授業に使用できる屋内温水プールを向陽学府や北部地区に設置すべきでは。
- 答** 水泳授業や学校プールの在り方について検討会を設置し、新たにプール設置の必要性等を総合的に検討していく。

草刈り業務の効率化と要望手続の簡素化／優良田園住宅制度のさらなる活用と今後の展望／地域活動の担い手確保と育成



一問
一答

市民と創る磐田 大 迫 由 美 子 議員



草刈り業務の効率化と要望手続の簡素化

- 問** 繰り返し草刈りの要望のある箇所は、自治会長を経由せず、計画に基づき定期的に実施するような仕組みを構築できないか。
- 答** 河川、幹線道路、通学路等では計画的に草刈りを実施しているが、正確な時期と場所の把握や公平性を担保するため、都度、自治会からの要望をもらうようにしている。
- 問** 自治会長の負担軽減策として、市民が直接市へ通報できる仕組みを草刈り業務にも導入する考えは。
- 答** 市公式LINEの道路通報や市ホームページからの問合せ等広く草刈りを要望する仕組みがあることから、現状の要望方法の一層の周知に努めていきたい。
- 優良田園住宅制度のさらなる活用と今後の展望**
- 問** 地域の声を踏まえ、指定区域の見直しについて、具体的に検討する考えは。
- 答** 9年度の改定に向けて、



- 都市計画マスタープランの検証、見直しに着手しており、今後、専門家や地域の声を聴きながら検討していきたい。
- 問** 今後のターゲット層や具体的な促進策について戦略は。
- 答** 居住誘導区域内への居住を優先しつつ、ゆとりあるライフスタイルを求める方には本制度を選択肢として活用してもらうよう、周知啓発に努め、定住につなげていきたい。
- 地域活動の担い手確保と育成**
- 問** 地域活動に参加していない市民の力を引き出し、活動につなげる方策は。
- 答** 地域活動を知り、興味を持ってもらうことが大切と考えており、地域活動への参画につながるような仕組みづくりを研究していきたい。

市の諸課題について／市の沿岸部について



問
答

志政会 岡 實 議員



市の諸課題

問 NEXT GIGAスクール構想推進事業の期間とデジタル教科書の導入は。

答 1人1台端末の経費は、8年度から5年間で約14億円と想定している。学習者用デジタル教科書はこれに含まれておらず、国の方針の動向を注視して対応していきたい。

問 GIGAスクール構想・NEXT GIGAスクール構想を『磐田の教育』へ掲載し、見える化を図る考えは。

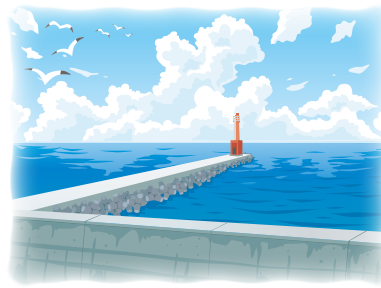
答 目的や方向性、取組状況等を理解してもらえよう『磐田の教育』だけではなく、市ホームページへの掲載も検討していきたい。

問 市職員の兼業制度の拡充への考えは。

答 既にスポーツ指導などで兼業を認めているが、自己実現へのニーズの高まりなどに対応するため、兼業許可基準を明確化し、対象範囲の拡大を図りたい。

市の沿岸部

問 防潮堤整備事業について、



国の被害想定の見直し後の対応や対策の進め方、県との連携や調整、課題は。

答 まずは現行計画どおり8年度市施工分の整備を進め、その後、県の被害想定を基に課題を検証し、新たな方針や対策を県と連携して検討する。

問 防潮堤完成後の津波浸水区域と河川の遡上の見込み、市民への周知方法や課題は。

答 県の被害想定を確認した上で津波避難計画等へ反映させ、研修会や市ホームページ等で市民へ周知していく。

問 国や県への、津波シミュレーション動画の製作に向けた働きかけは。

答 市民の関心は高いと認識しており、必要に応じて県へ動画製作を働きかけたい。

農業用水路の現状と課題について／磐田産米を活用した施策について



問
答

愛和 宮 崎 真 理 子 議員



農業用水路の現状と課題

問 耕作放棄地の増加により、水路の維持管理の課題は深刻化すると思われる。耕作放棄地の荒れによる水路の詰まりなど、農業用水路の機能不全への対策は。

答 通水期間における水管理と用水路の軽微な修繕は、耕作者や地元農会、用水管理組合にお願いしている部分が多い。市は、緊急性や困難が伴う大掛かりな維持管理案件について、地元からの要望をいただいで対応している。現在、国からの交付金を活用し、農家と地域が連携した地域ぐるみの農地保全活動を推進している。

問 耕作放棄地の発生を未然に防ぐための支援策や荒廃した圃場の再生に向けた施策は。

答 農地が荒廃化する前に適正な農業者へつなげることを最優先し、農地バンクや小規模就農制度を活用したマッチングに努めている。荒廃化が進行し耕作が困難な農地については、草木の伐採等の農地再生に要する費用を県や市で



補助する荒廃農地再生事業を活用し、耕作ができる農地へ再生をしている。

磐田産米を活用した施策

問 食料価格の高騰や災害時の備蓄の観点から、磐田産米を市民に特別販売する仕組みの導入は。

答 生産者の協力体制の構築や厳正な価格の設定、継続的な供給体制の確保が課題となる。生産地と消費地の両面を持つ市の実情に合致するか検証が必要である。市民の生活ができるだけ豊かになり安心して磐田産米を食べられるようにということも十分に理解したうえで、生産者の声も聴きながら市民支援の方策を検討していきたい。

「特定健診」「後期高齢者医療健診」について／シニアクラブについて／公共施設について／こどもの安全について



問
答

市民と創る磐田 高 塚 静 子 議員



健診の受診率

問 現在の取組と、今後の計画について伺う。

答 40歳と50歳の受診料の無料化や、行動パターンに合わせた受診勧奨通知の送付、75歳の方に集団バス健診を受けられるなどの取組を試行している。今後は、効果を検証しながら、効果的な受診勧奨に取り組んでいく。

問 後期高齢者医療健診に、糖尿病の指標となるHbA1cの項目を追加する見解は。

答 血液検査方法は、静岡県後期高齢者医療広域連合が示した基準にのっとっており、現時点で項目を追加する考えはない。

問 76歳以上の方も集団バスでの受診ができるよう拡大していく予定があるか。

答 受診枠の確保などの課題を整理し、全年齢へ拡大するかどうかを検討していきたい。

シニアクラブ

問 これまでの活動評価と、今後どのような役割を期待しているかを伺う。



健康維持や社会参加、地域活動に大きく貢献している。高齢者の孤立防止や交流促進にも期待している。

問 高齢者のライフスタイルに合った活動への支援は。

答 毎年、意見交換を行っており、6年度は会員数の減少に対して、各地区での活動や取組の状況を共有した。今後も連携し、運営する上での困りごとの相談や助言等の支援をしていく。

こどもの安全

問 小学校教員による児童の盗撮報道を受け、市の対応は。

答 職員の私的端末で児童生徒を撮影しないことなどの徹底を図った。重ねて、教室等の整理整頓や学校施設の点検を実施し、未然防止に努めた。

緑十字機不時着の史実と磐田市と伊江村の友好都市提携



問
答

せいわ会 本 間 昭 男 議員



問 緑十字機不時着の史実についての理解と認識は。

答 歴史的に重要な出来事であったと認識しており、緑十字機不時着を語り継ぐ会からの発信や報道により、徐々に浸透していると感じている。

問 緑十字機不時着80年記念大会事業の成果をどう評価しているか。

答 市制20周年記念冠事業として、共創の観点からも意義のある大会であったと認識している。

問 広報いわた7年8月号の巻頭で緑十字機の特集を掲載するに至った経緯は。

答 終戦月の8月に合わせ、平和意識の啓発の観点から市で起こった身近な史実を伝え、市民に戦争という出来事を考えてもらうため掲載することとした。

問 戦後平和の発祥地宣言を今後どのように扱い、発信し活かしていくか。

答 公式なものではないが、戦後80年記念イベントや平和事業の中で活用していきたい。

問 不時着機体が今後発見された場合、多岐に渡る困難な



作業や費用の発生が予想されるが、市としての支援や協力の可能性は。

答 ガバメントクラウドファンディングの活用など、市とすることができる支援をしたい。

問 伊江村との相互理解をさらに深め、互いの地域の活性化を促進するために、友好都市提携が有効な手段だと考えられるが見解は。

答 平和を基軸とした交流は大変有意義で価値のあるものと考えている。友好都市提携は将来にわたって続く重要な決断となる。幅広い層の市民の声に耳を傾けるとともに、何ができるのか相互に認識した上で判断したい。

命を救う災害への備えについて／ 未来を担う健やかな子どもたちの課題について



一括
質問

志政会 浦木尚行 議員



命を救う災害への備え

問 災害時に新たに病院前に救護所を設置する理由と救護所全体の体制は。

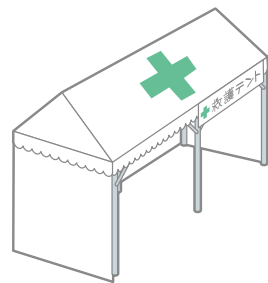
答 過去の震災で傷病者が病院に殺到し、混乱した教訓から病院前に設置する。3か所の病院前救護所は必ず開設し、11か所の指定救護所は被災状況に応じて開設する。病院前救護所の開設を平時から周知し、市民の不安を払拭する。

問 傷病者を見分けるトリアージを啓発する考えは。

答 処置や搬送の優先順位を決定するトリアージの市民理解は、円滑な救護活動に必要である。避難所運営会議や地域防災訓練などで周知を図る。

問 年数を経過している災害時応援協定の維持と、備蓄品のランニングストック方式への取組の考えは。

答 協定先とは年に一度、連絡先等を確認しており、協定内容に変更がある場合には随時見直し関係を持している。ランニングストック方式は、在庫管理等の観点から有効であり、食料品など品目によつ



ては積極的に検討していく。

健やかな子どもたちの課題

問 不登校に対応する教職員には、これまで以上に人的、時間的な配慮や配置が必要と考える。現状と課題は。

答 校内のスクールカウンセラー等の専門スタッフと校外の関係機関等のメンバーでケース会議を行っている。専門スタッフの勤務時間等に限りがあり、ケース会議等が迅速に開催できない課題がある。

問 不登校児童生徒の人のつながりや関わりが鍵となる。今後広げていく考えは。

答 子どもたちにとって話しやすい相手となることから始め、継続的な関わりを通して信頼関係を構築していく。

多文化共生社会の推進について／ 不登校について



一括
質問

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員



多文化共生社会の推進

問 多文化交流センターの活動状況と課題は。

答 多国籍の親子の文化交流や外国人市民への語学学習支援などを行っており、年間約9400人が利用している。課題はスタッフの高齢化や人材確保の難しさである。

問 外国人の受け入れと多文化共生社会実現に向けた全国知事会の提言に対する見解は。

答 外国人を労働者から生活者、地域住民として捉えており共感している。

問 多文化共生の取組と課題、国に求めるべき支援策は。

答 外国人情報窓口での情報発信や相談対応、日本語教室等を行っている。国に求める支援策は、育成就労制度の円滑な運用や日本語教育の予算確保等であり、7月には県知事へ要望書を提出した。

不登校

問 子どもの心の傷の理解と休息、回復の補償への取組は。

答 心の休養は極めて重要と認識しており、校内・校外の



教育支援センターなど、不登校児童生徒が心を休ませられる環境を整備している。

問 学びの多様な学校の本市としての取組の考えは。

答 不登校児童生徒に教育を提供する場として位置づけられており、動向について情報収集している。本市の実情に応じた不登校支援のあり方の一つとして、設置の可能性も含めて検討していきたい。

問 校内教育支援センターの今後の設置計画と課題は。

答 現在、中学校全校と小学校10校に設置しており、小学校は未設置の学府を優先し、順次設置を進めたい。課題は、環境整備や場所の確保、相談員が配置されない午後時間帯の運営方法等である。

市の諸課題について



一括
質問

新磐田 永井新次 議員



問 こどもの居場所を増やした後の取組の方向性は。

答 こどもだけではなく、多世代が交流できる場を考える。運営団体の自立性向上のため、ノウハウの共有や企業との共創で、利用しやすい居場所づくりを目指していく。

問 耕作されていない農地を市民や団体、企業に貸し出し、収穫した食材の一部をこども食堂に寄付する取組の考えは。

答 農地の有効活用策の一つとし意義あるものと認識している。単なる農作物の生産にとどまらず、人と人、人と自然をつなぐフィールドとして農地の活用を考えたい。

問 特殊詐欺事件を参考にした参加型訓練実施の考えは。

答 高齢者サロン等での防犯寸劇の実演を取組の一つとし、警察などと連携してより有効な防止策を研究していく。

問 屋内で安心して遊べる場の創出の考えは。

答 共創や財政負担の軽減を念頭に、先進地事例を参考にしながら、市民の求める施設の実現を目指して調査・研究を継続していく。



問 公共施設を会場とした猫の譲渡会ができないか。

答 施設の駐車場や広場など、屋外での開催は条件付きではあるが現時点でも可能である。一方、屋内での開催は施設の管理規則や運用ルールの見直し等が必要となるため、相談があれば他市の事例等を参考に検討したい。

問 空き家の現状と課題は。

答 総務省の5年調査では、本市には7840戸の空き家があると公表されている。そのうち市が把握している空き家は、6年度末時点で343戸である。課題は、所有者の意識と意欲を高め、空き家の流通促進を図ることである。

市の諸課題について



一括
質問

せいわ会 加藤公人 議員



問 スクラップヤードの事業者に対する火災予防上必要な立入検査や指導は。

答 4年に発生した火災の後に、緊急の特別検査を実施したほか、継続的な指導や必要な事業者には定期検査を年1回程度実施している。消防用設備等の設置状況や指定可燃物の集積状況等について、関係者の立会いの下、消防法令に適合しているかを詳細に確認している。

問 市街化区域において大型獣の出没通報を受けた際の連携体制、出動体制の課題は。

答 県、警察、猟友会と大型獣出没に関する対策会議を開催し、連携体制の強化を図っており、毎年開催していく予定である。初動体制の課題を解消するため早期に的確な場所へ関係機関が参集できるよう、緊急時の連絡網を整理した。

問 市街化区域における大型獣の捕獲手法の検討は。

答 地元猟友会から市街地での銃器使用は困難との見解が示されている。安全を考慮しながら、関係機関と連携した



追い払い、わなの設置等の対策を優先して実施していく。

問 地域福祉計画を推進するため、関係団体との連携が大切と考えるが、市の認識と方向性は。

答 関係団体との連携が大切であると認識している。連携した様々な取組は地域活動の解決や地域福祉の推進につながっており、日頃の活動に非常に感謝している。方向性としては、地域の活動をより多くの市民に知っていただくことや、交流センターなどでの気軽な活動や講座を通して、地域活動への参加を促すことで、担い手の確保につなげていきたい。



一 括
質 問

新磐田 加藤 文重 議員

JR3 駅（豊田町・磐田・御厨）周辺のまちづくり 安心・安全を目指して



JR3 駅（豊田町・磐田・御厨）周辺のまちづくり

問 豊田町駅周辺のまちづくりにへの思いと今後は。

答 駅東側エリアに住宅等を建築できるよう条例制定の準備を進めている。駅と文化ゾーンを結ぶ沿線の賑わい創出、地域活力向上にも取り組む。

問 旧市民文化会館等跡地の利活用の意見のまとめ方と方針決定は。また、方針決定後の市民への発信方法は。

答 意見やアイデアを集約・分析し、ニーズが高い内容を協議し方向性を決定する。基本方針は、ホームページや広報紙、チラシでの情報発信を考えている。

問 御厨駅北口の活性化への市の関わりは。

答 駅周辺の市有地をイベントへ貸し出す等、地域住民や事業者の活動を支援してきた。

問 御厨駅周辺の魅力とまちづくりへの思いは。

答 歴史的資源や都市機能が調和する魅力的なエリアのポテンシャルを活かし、賑わいの創出と魅力向上に向け新たな可能性を検討していきたい。

安心・安全を目指して

問 避難所を示す看板を明確で分かりやすい表示に統一する検討は。

答 避難場所として対応する災害が明確になるよう、優しい日本語表記やピクトグラムで表示する等検討していく。

問 7 年 7 月 30 日に発令された津波警報への対応の検証と課題は。

答 避難場所の環境や避難者の受入れ、情報発信等、あらゆる角度から検証を行った。避難場所での熱中症対策、学校での避難者の受入体制等、様々な課題があった。優先順位をつけ、スピード感を持って対応していきたい。



こどもが育つまちを目指した、切れ目ない申請手続きについて／市民に開かれた施設の活用について／新消防庁舎の計画について／市内での意見交換・協力について



一 問
一 答

愛和 玉木 良汰 議員

こどもが育つまちを目指した、切れ目ない申請手続き

問 子育て支援センターの利用登録を一元化する考えは。

答 8 年度より登録を一元化し、全ての子育て支援センターを利用できるよう準備を進めている。

市民に開かれた施設の活用

問 公共施設の空き時間をこどもや若者の自習スペースや居場所等に活用することによる地域課題の解決の見解は。

答 交流センターは、当日空いていれば自習室として利用されている。また、こどもたちの居場所づくりに活用するなど有効利用されている。

問 交流センターの利用料減免制度が子育て世代に周知されていないと感じるが、見解と効果的な周知方法の検討は。

答 利用したことがない方は、制度を知らない場合が多いと認識している。ホームページへの掲載、子育て施設での案内等、子育て世代に届くよう努めていく。

新消防庁舎の計画

問 新消防庁舎にこども・子育て世代が利用しやすいスペースを設置する考えについて、具体的な計画や方針は。

答 授乳室やキッズスペースを設置するほか、防災や消防活動に関心を持ってもらえるよう展示スペースや車庫内の見学通路、訓練が見学できる展望テラスを計画している。

市内での意見交換・協力

問 様々な事業の検討にこども・若者・子育て世代の意見を直接聴くことは不可欠と考えるが見解は。

答 こどもや若者、子育て世代の意見は不可欠であり、ワークショップやオンラインシステム、パブリックコメントの実施など、気軽に意見を言える環境づくりに努めている。



一般質問
用語解説



※1 防災士（P13）

「自助」「共助」「協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人をいいます。

※2 居住誘導区域（P14）

人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域のことです。

※3 偏光サングラス（P15）

偏光膜を挟んだ偏光レンズを使用したサングラスで、反射光のみをカットするため、レンズの濃度が低くても、まぶしさを防ぐ効果があります。

※4 グリーンベルト（P15）

歩道が設けられていない道路の路側帯に緑色に着色を施したエリアを指します。歩行者の安全を守ることを目的とし、主に通学路や生活道路などに導入されています。

※5 HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）（P16）

糖化ヘモグロビンの存在する割合をパーセンで表したものです。血糖値の高い状態が続く

と、ヘモグロビンに結合するブドウ糖の量が多くなるため、HbA1cは高くなります。

※6 NEXT GIGA スクール（P17）

GIGA スクール構想では、児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する取組を進めてきました。この構想をさらに発展させ、ICT（情報通信技術）環境の更新や進化を図ることを目指しています。

※7 ランニングストック方式（P19）

自治体で購入した備蓄品を事業者の物流拠点に寄託し、事業者はそれを販売用在庫として利用しながら一定量を管理・保管することです。災害発生時は、自治体の返還要求により備蓄品として発送します。

※8 スクラップヤード（P19）

使用済みの金属、木材、プラスチックなどの再生資源を屋外で分別・保管する施設のことです。

訂正 いわた羅針盤 No.102 一般質問用語解説

（11・15ページ）

「グリーンフケア」死別だけでなく、離婚などの別れ、受験、子どもの成長、老い、病気など日常生活に存在する悲しみ、羨望、怒りなどの感情により、心が不安定な状態となると同時に、身体上にも不愉快な反応・違和感を経験することを「グリーンフ」といい、このような状態にある人に、さりげなく寄り添い、援助することを行います。

Information

アンケート調査へのご協力について

市議会だよりをよりよいものにしていくため、市民の皆さまからのご意見を聴かせてください。

右側のQRコードをスマートフォンにかざすとアンケートフォームが開きます。

回答へのご協力につきまして、よろしくお願いいたします。



～ようこそ議場見学へ～

多くの皆さんが議場を見学に訪れましたので、その内容をご紹介します。

7/14 豊岡南小学校

豊岡南小学校6年生の皆さん51人が議場を見学に訪れました。子どもたちは議席に座り、議員から議会の仕組みや議員の仕事などの説明を聞き、代表者による模擬議会を体験しました。その後、委員会室に移動し、議員への質問を行うなど、にぎやかに意見が交わされました。



8/4 ほっぷ国府台

放課後等デイサービスほっぷ国府台の皆さん7人が議場を見学に訪れました。子どもたちは議席に座り、議員から議会の仕組みや議員の仕事などの説明を聞き、クイズに挑戦したほか、順番に演壇に上り、将来の目標について元気よく発表しました。



8/14 磐田の未来を語る会

市内の小学校4年生から6年生を対象に、「磐田の未来を語る会」が開催され、その一環で議場を見学に訪れました。子どもたちは議席に座り、議員から議会の仕組みや議員の仕事などの説明を聞いた後、順番に演壇に上り、将来の目標について、元気よく発表しました。



8/28 磐田東高等学校

磐田東高等学校2年生の皆さん13人が、コミュニティ政策授業の一環で議場を見学に訪れました。生徒たちは議席に座り、議員から議会の仕組みや議員の仕事などの説明を聞いた他、代表者による模擬議会を見学し、順番に演壇に上り、将来の目標を発表しました。



委員会所管事務調査

行政視察報告

議会運営委員会や常任委員会では、所管する事務に関する審査や調査のため、他の自治体の先進的な取り組み等について行政視察を行っています。今回は、広報広聴委員会、議会運営委員会の行政視察の内容をお知らせします

広報広聴委員会

8月19日～20日

(調査項目) 広報広聴の取組について

●神奈川県開成町 広報広聴の取組

開成町議会は、町議会のホームページが町のホームページから独立しており、トップページを毎月更新し、一般質問の各議員のコメントや字幕付きの動画を掲載するなど、閲覧者の目を引く工夫が凝らされている。議会だよりはレイアウト、議員の写真、字体やキャッチコピーなど、毎号変化を付けた紙面構成となっている。その他、出前授業、意見交換会などを実施している。

●神奈川県相模原市
広報広聴の取組

相模原市議会は、市議会だよりの編集・発行、市議会ホームページの他、女子美術大



相模原市議会での視察の様子

学との連携事業に取組んでおり、平成28年度以降は定例会のポスター制作を行っている。情報はフェイスブックやインスタグラムなどのSNSで日々発信している。議会だよりの閲覧状況について定期的に経年変化を分析しており、認知度や関心度などを把握することができ、施策のPDCAサイクルに有効であるため参考となった。大学・高校との連携は市議会や市政に関心をもってもらうきっかけとなると考えられる。

議会運営委員会

8月25日～26日

(調査項目) 多様な人材の議会への参画

●東京都杉並区 議会へのオンライン出席

杉並区議会は、災害時に加え、重大な感染や育児・介護においてもオンラインでの参加が可能となっている。本会議会もコロナ感染を機にオンライン会議の実現に取り組んできたが、改めて、参加条件の整理等を進める必要がある。オンライン会議は映像に加え、音声や音質の配慮が重要であるとともに、大型モニターの設置など視覚を活かした議会運営の有効性を感じた。今後、オンライン会議について検討するに当たっては、音響など設備面に加え、運営方法なども考慮する必要がある。有事に備え、定期的にオンライン会議を開催し、慣れおく必要性を再認識した。

●東京都豊島区
議会へのオンライン出席

豊島区議会は、議会へのオンライン出席として、「豊島区議会委員会条例」にてオンラ



杉並区議会での視察の様子

インを活用した委員会開催の規定を整備し、「オンライン会議実施規定」にて開催方法やその他必要事項を定めている。対象を特定の感染症や大規模災害時としており、出産や介護などは対象としていない。具体的な実施方法(流れ)や次第書における工夫も見られ、丁寧な運用がなされている。課題はオンライン参加者の音声の聞きづらさであり、会議システムとオンライン会議ツールを連動させた環境整備を進めている。

審 議 結 果

■全会一致により可決・認定・同意された議案

- (1) 7年度一般会計補正予算（第3号）
- (2) // 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- (3) 6年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- (4) // 下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- (5) // 駐車場事業特別会計歳入歳出決算
- (6) // 広瀬財産区特別会計歳入歳出決算
- (7) // 岩室財産区特別会計歳入歳出決算
- (8) // 虫生財産区特別会計歳入歳出決算
- (9) // 万瀬財産区特別会計歳入歳出決算
- (10) // 水道事業会計決算
- (11) // 下水道事業会計決算
- (12) // 病院事業会計決算
- (13) 7年度一般会計補正予算（第4号）
- (14) // 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (15) // 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

- (16) 7年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- (17) // 水道事業会計補正予算（第1号）
- (18) 磐田駅北口多目的広場条例の制定
- (19) 個人番号の利用に関する条例の一部改正
- (20) 市立総合病院の使用料及び手数料条例の一部改正
- (21) 駅北土地区画整理事業施行条例の廃止
- (22) 7年度特別史跡遠江国分寺跡中門・回廊整備工事請負契約の締結
- (23) 財産の取得
- (24) 財産の取得
- (25) 市道の路線認定
- (26) 市道の路線廃止
- (27) 市道の路線変更
- (28) 7年度一般会計補正予算（第5号）
- (29) 監査委員選任の同意
- (30) 市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定
- (31) 物価高騰等を踏まえた適切な診療報酬改定等に関する意見書

■意見の分かれた議案

| 件名 | 会派名 | 志政会 7人 | 新磐田 4人 | せいわ会 4人 | 愛和 4人 | 市民と 創る磐田 3人 | 日本共産党 磐田市議団 2人 | 公明党 磐田 2人 |
|------------------------|-----|-----------|-----------|------------|----------|-------------------|----------------------|-----------------|
| 6年度一般会計歳入歳出決算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 6年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

※公明党磐田の会派人数は2人ですが、採決は鈴木喜文議長を除いた1人で行います。

○：賛成 ×：反対

■その他

市議会議員の派遣

11月定例会の予定

（11月25日～12月23日）

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|------|---------------------------------------|--------------------|--------------------|----|----|
| 11/23 | 24 | 25 本会議 (議案上程) | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 12/1 | 2 本会議 (代表質問) | 3 本会議 (一般質問) | 4 本会議 (議案質疑) | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 予算決算委員会分科会 (審査) 常任委員会 (審査) | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 予算決算委員会 (採決) | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 本会議 (採決) | 24 | 25 | 26 | 27 |

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。

代表質問、一般質問を行う議員の順番や内容につきまして12月1日（月）にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845）までお問い合わせください。

表紙の写真

静岡県立磐田南高等学校 2年生

ビジュアル部 ^{すずき}鈴木 ^{はづき}葉月 さん

この写真は放課後、3人で話していたときに撮ったものです。楽しそうに話している友達の笑顔がとても素敵で温かく感じ、日常の他愛もない瞬間ですが写真に残したいと思いました。陽だまりのような雰囲気を感じ取ってもらえたら嬉しいです。大人になっても今の私たちの関係が続いていくことを願っています。



今回の特集は「スポーツ施設の再編について」

磐田スポーツ協会との意見交換会です。

「スポーツのまち磐田」を目指す中でも市民

にとって興味深い内容だと思います。市議会

としても皆様にスポーツを引き続き楽しんでいただくため

に、分かりやすく丁寧に市の情報をお伝えしていきますの

でよろしくお願いいたします。

（鳥居節夫）

【広報広聴委員会】

■委員長：芦川和美 ■副委員長：鈴木弥栄子

■委員：永井新次、本間昭男、江塚学、鳥居節夫、根津康広

次回は2月1日発行予定です。